

消 防 団



第 7 6 回日本消防協会定例表彰式

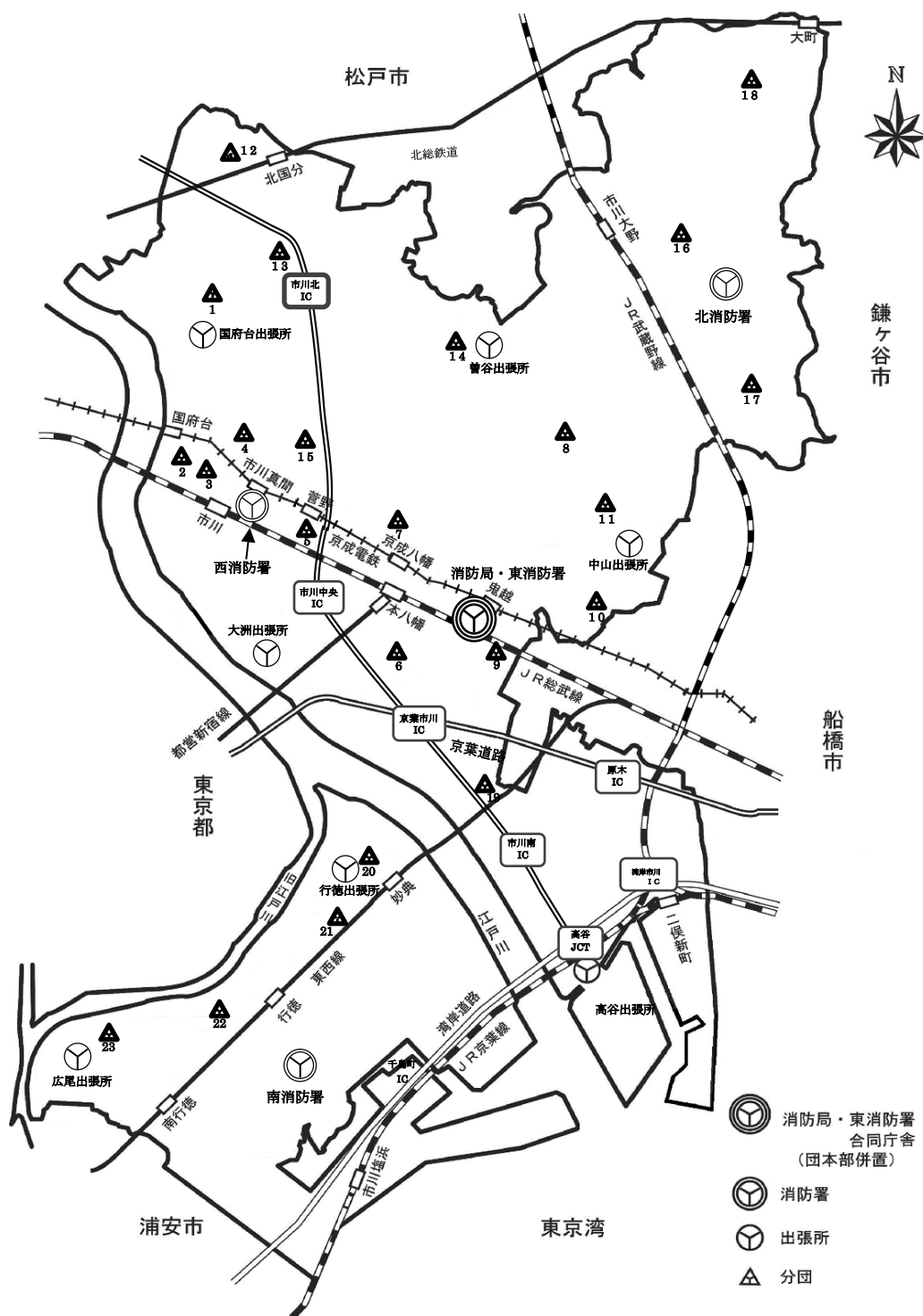
1 消 防 団 員

(1) 消防団の編成

団本部			分団	管轄区域
団長	副団長			
消 防 団 長	統括副団長（西部方面隊長兼任）	東部方面隊長・副隊長	第 5分団 第 6分団 第 7分団 第 9分団 第 10分団 第 11分団 第 19分団 (7個分団)	新田、平田、大洲、八幡、南八幡、菅野、東菅野、鬼越、鬼高、高石神、中山、若宮、北方、本北方、北方町、大和田、稲荷木、東大和田、田尻、原木、高谷、二俣、高谷新町、東浜、上妙典、二俣新町
		西部方面隊長・副隊長	第 1分団 第 2分団 第 3分団 第 4分団 第 12分団 第 13分団 第 15分団 (7個分団)	国府台、市川、市川南、真間、北国分、堀之内、国分、中国分、稲越、東国分、須和田
		南部方面隊長・副隊長	第20分団 第21分団 第22分団 第23分団 (4個分団)	河原、下新宿、妙典、幸、下妙典、本行徳、富浜、塩焼、伊勢宿、関ヶ島、本塩、末広、宝、日之出、千鳥町、高浜町、塩浜、加藤新田、行徳駅前、湊、入船、押切、湊新田、香取、福栄、欠真間、新浜、相之川、南行徳、広尾、新井、島尻
		（北部方面隊長 副隊長兼務）	第 8分団 第 14分団 第 16分団 第 17分団 第 18分団 (5個分団)	宮久保、曾谷、下貝塚、大野町、南大野、柏井町、奉免町、大町
	1人	1人	7人(※)	23個分団
8人				

※ 統括副団長兼務

(2) 消防団方面区分図



(3) 消防団員数

令和6年4月1日現在

定 数	400 人	実 数	322(19) 人
-----	-------	-----	-----------

() 女性消防団員

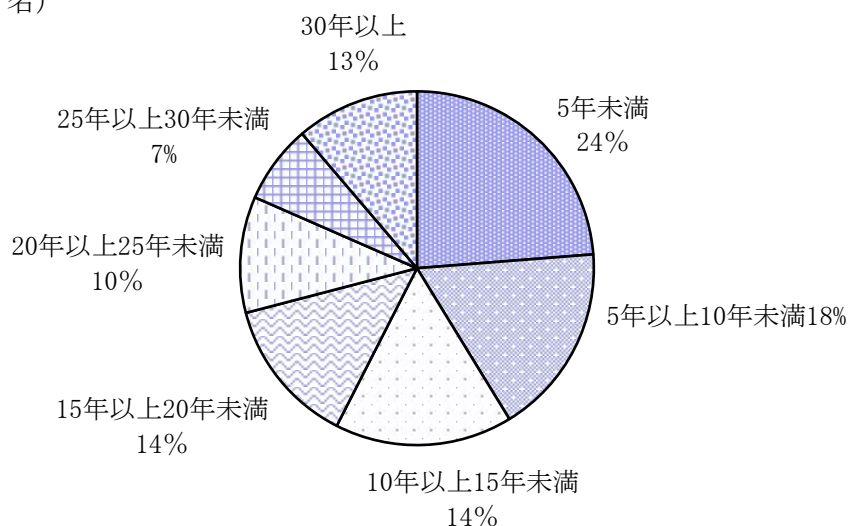
(4) 年齢別・階級別消防団員数

年 齢 \ 階級別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員	計
18～20 歳						4	4
21～25 歳				1	1	11(2)	13(2)
26～30 歳					1	13(3)	14(3)
31～35 歳					2	19	21
36～40 歳			3	4	14(1)	26(2)	47(3)
41～45 歳			6	4	16(1)	20(1)	46(2)
46～50 歳			3	6	10	28(1)	47(1)
51～55 歳		1	4	4	11(1)	26(2)	46(3)
56～60 歳	1	5	5	3	6	31(4)	51(4)
61 歳 以上		1	2	1	5	24(1)	33(1)
計	1	7	23	23	66(3)	202(16)	322(19)
平均年齢	46.6 歳(44.3 歳)						

() 女性消防団員

(5) 在職年数別消防団員数 (322 名)

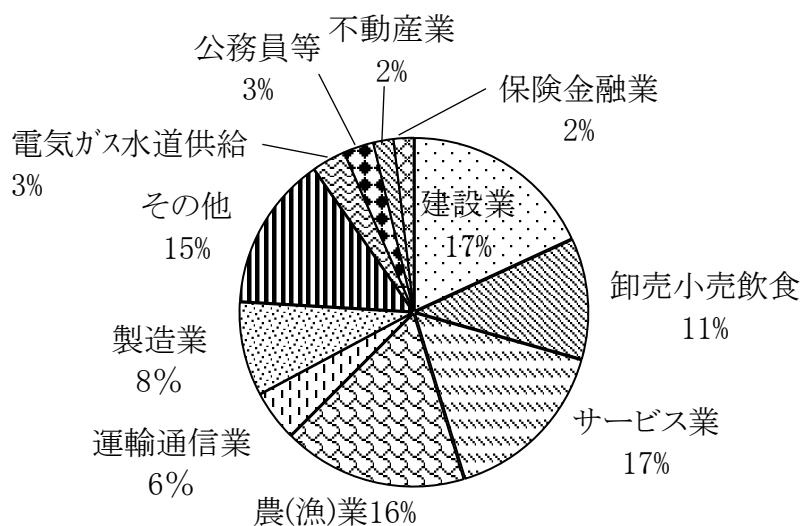
在 職 年 数	人 数
5 年未満	76 人
5 年以上 10 年未満	57 人
10 年以上 15 年未満	46 人
15 年以上 20 年未満	45 人
20 年以上 25 年未満	34 人
25 年以上 30 年未満	22 人
30 年以上	42 人
合 計	322 人



※平均在職年数 14.7 年

(6) 団員職業構成 (322 名)

職 種	人 数
建設業	54 人
卸売小売飲食	35 人
サービス業	56 人
農(漁)業	53 人
運輸通信業	19 人
製造業	26 人
その他	51 人
電気ガス水道供給	9 人
公務員等	9 人
不動産業	5 人
保険金融業	5 人
合 計	322 人



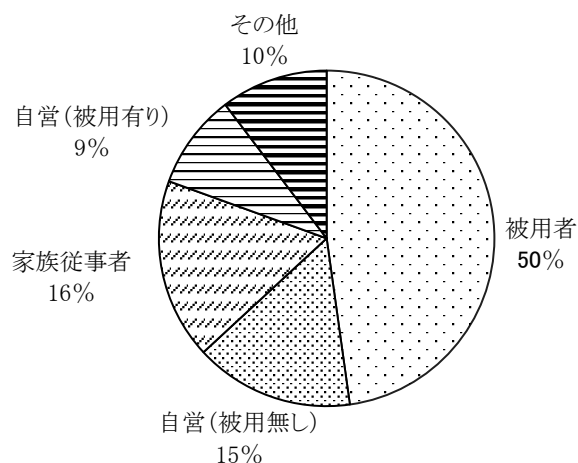
※被用者団員比率

市川市・・・50.3%

全 国・・・72.8% (令和 5 年 4 月 1 日現在
消防白書による)

(7) 団員就業形態 (322 人)

職 種	人 数
被用者	162 人
自営(被用無し)	48 人
家族従事者	53 人
自営(被用有り)	28 人
その他	31 人
合 計	322 人



※自営業は全体の 23.6%

(8) 消防団員の年額報酬及び出動報酬

	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
年額報酬	147,500 円	118,500 円	90,000 円	67,000 円	40,000 円	36,500 円
出動報酬	災害出動（放水活動その他の危険と認められる業務に従事した場合） 日額 8,000 円					
	災害出動（前項の業務以外の業務に従事した場合） 日額 3,500 円					
	警 戒 日額 3,500 円					
	訓 練 日額 3,500 円					

2 消防団の出動状況

	火 災 等		警 戒		訓 練		計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
令和5年1月	0	0	19	99	35	227	54	326
2月	2	5	19	90	28	204	49	299
3月	0	0	19	92	51	343	70	435
4月	2	9	19	80	84	628	105	717
5月	1	1	19	92	80	695	100	788
6月	4	90	22	105	101	592	127	787
7月	3	4	47	245	109	552	159	801
8月	0	0	63	256	40	229	103	485
9月	1	8	21	101	38	247	60	356
10月	0	0	49	300	57	287	106	587
11月	1	2	28	137	59	304	88	443
12月	2	4	193	885	48	195	243	1084
計	16	123	518	2482	730	4503	1264	7108

3 分団車庫（詰所）

	所 在 地	建築年月日	構 造	延面積
団 本 部	八幡 1 丁目 8-1	消防局に併設		
第 1 分団	国府台 1 丁目 9-6	R5. 3. 16	軽量鉄骨 2 階建	48.60 m ²
第 2 分団	市川 3 丁目 25-3	H22. 9. 24	軽量鉄骨 2 階建	67.88 m ²
第 3 分団	市川 2 丁目 25-16	H27. 3. 20	木造平屋	51.33 m ²
第 4 分団	真間 2 丁目 7-9	R3. 2. 8	軽量鉄骨 2 階建	48.60 m ²
第 5 分団	平田 2 丁目 23-10	H26. 3. 19	軽量鉄骨 2 階建	57.12 m ²
第 6 分団	南八幡 3 丁目 23-17	H20. 3. 4	軽量鉄骨 2 階建	96.29 m ²
第 7 分団	菅野 1 丁目 16-22	H31. 3. 12	軽量鉄骨平屋	44.91 m ²
第 8 分団	宮久保 5 丁目 16-9	H21. 3. 30	木造 2 階建	92.74 m ²
第 9 分団	鬼越 2 丁目 17-6	H13. 10. 26	軽量鉄骨平屋	74.00 m ²
第10 分団	中山 2 丁目 10-3	H25. 1. 30	木造平屋	45.13 m ²
第11 分団	本北方 3 丁目 19-15	H 1. 12. 15	軽量鉄骨 2 階建	91.09 m ²
第12 分団	北国分 4 丁目 10	S58. 1. 31	軽量鉄骨 2 階建	50.58 m ²
第13 分団	中国分 1 丁目 6-19	H15. 12. 3	木造平屋	55.06 m ²
第14 分団	曾谷 2 丁目 7-2	S62. 12. 21	軽量鉄骨 2 階建	86.40 m ²
第15 分団	須和田 2 丁目 22-7	H6. 12. 16	軽量鉄骨 2 階建	59.20 m ²
第16 分団	大野町 3 丁目 1948	H3. 12. 16	軽量鉄骨 2 階建	81.15 m ²
第17 分団	柏井町 2 丁目 1312	H4. 12. 19	木造 2 階建	79.49 m ²
第18 分団	大町 273	H2. 12. 14	軽量鉄骨 2 階建	92.76 m ²
第19 分団	田尻 5 丁目 5-20	H5. 12. 14	軽量鉄骨 2 階建	133.06 m ²
第20 分団	妙典 1 丁目 11-22	H9. 12. 2	木造平屋	55.06 m ²
第21 分団	富浜 3 丁目 4-18	H20. 3. 4	軽量鉄骨 2 階建	92.01 m ²
第22 分団	香取 1 丁目 9-2	H2. 3. 15	軽量鉄骨 2 階建	109.31 m ²
第23 分団	相之川 1 丁目 23-3	S62. 12. 21	軽量鉄骨 2 階建	92.73 m ²

4 分団別管轄区域

分 団 名	管 轄 区 域
第 1 分団	国府台
第 2 分団	市川 3、4 丁目
第 3 分団	市川 1、2 丁目、市川南
第 4 分団	真間
第 5 分団	新田、平田、大洲
第 6 分団	八幡、南八幡
第 7 分団	菅野、東菅野
第 8 分団	宮久保
第 9 分団	鬼越、鬼高、高石神
第 10 分団	中山、若宮
第 11 分団	北方、本北方、北方町
第 12 分団	北国分、堀之内
第 13 分団	国分、中国分、稲越、東国分
第 14 分団	曾谷、下貝塚
第 15 分団	須和田
第 16 分団	大野町 1、2、3 丁目、南大野
第 17 分団	柏井町、奉免町
第 18 分団	大野町 4 丁目、大町
第 19 分団	大和田、東大和田、稲荷木、田尻、田尻 1～5 丁目、原木、 原木 1～4 丁目、高谷、高谷 1～3 丁目、二俣、二俣 1、2 丁目、高谷新町、 東浜、上妙典、二俣新町
第 20 分団	河原、下新宿、妙典、下妙典、本行徳 1～16 番、18～21 番 本行徳、富浜 1、2 丁目、塩焼 1、2、4、5 丁目
第 21 分団	本行徳 17 番、22～38 番、伊勢宿、関ヶ島、塩焼 3 丁目、富浜 3 丁目 本塩、末広、宝、日之出、千鳥町、高浜町、塩浜 1 丁目、加藤新田 行徳駅前 1.3 丁目、幸、入船
第 22 分団	押切、湊、湊新田、湊新田 1、2 丁目、香取、福栄、行徳駅前 2、4 丁目、 塩浜 2、3 丁目、欠真間、新浜
第 23 分団	相之川、南行徳、広尾、新井、島尻、塩浜 4 丁目

5 消防団車両一覧

令和6年4月1日現在

呼称	配置	種別	車名	初年度登録	経過年数	納入会社
第 1分団	国府台	消防ポンプ車(CD- I 型)	日野	H30.03.20	6 年 0 ヶ月	GMいちばら
第 2分団	市川	小型動力ポンプ付積載車	日産	H19.02.05	17 年 1 ヶ月	三益消防機材
第 3分団	市川	小型動力ポンプ付積載車	日産	H18.03.23	18 年 0 ヶ月	GMいちばら
第 4分団	真間	小型動力ポンプ付積載車	日産	H25.03.06	11 年 0 ヶ月	GMいちばら
第 5分団	平田	小型動力ポンプ付積載車	日産	H18.03.23	18 年 0 ヶ月	GMいちばら
第 6分団	南八幡	消防ポンプ車(CD- I 型)	日野	H22.01.28	14 年 2 ヶ月	GMいちばら
第 7分団	菅野	消防ポンプ車(CD- I 型)	日野	H24.01.30	12 年 2 ヶ月	GMいちばら
第 8分団	宮久保	消防ポンプ車(CD- I 型)	日野	H21.01.23	15 年 2 ヶ月	GMいちばら
第 9分団	鬼越	小型動力ポンプ付積載車	日産	H16.12.09	19 年 3 ヶ月	GMいちばら
第10分団	中山	小型動力ポンプ付軽自動車	スズキ	H25.03.12	11 年 0 ヶ月	日本損害保険協会
第11分団	本北方	小型動力ポンプ付積載車	日産	H18.01.16	18 年 2 ヶ月	三益消防機材
第12分団	北国分	小型動力ポンプ付積載車	日産	H18.03.23	18 年 0 ヶ月	GMいちばら
第13分団	中国分	小型動力ポンプ付積載車	日産	H19.02.05	17 年 1 ヶ月	三益消防機材
第14分団	曽谷	小型動力ポンプ付積載車	日産	H16.12.09	19 年 3 ヶ月	GMいちばら
第15分団	須和田	小型動力ポンプ付積載車	日産	H18.01.16	18 年 2 ヶ月	三益消防機材
第16分団	大野	小型動力ポンプ付積載車	日産	H19.02.05	17 年 1 ヶ月	三益消防機材
第17分団	柏井	小型動力ポンプ付積載車	日産	H18.03.23	18 年 0 ヶ月	GMいちばら
第18分団	大町	小型動力ポンプ付積載車	日産	H21.02.03	15 年 1 ヶ月	GMいちばら
第19分団	田尻	小型動力ポンプ付積載車	日産	H19.02.05	17 年 1 ヶ月	三益消防機材
第20分団	妙典	小型動力ポンプ付積載車	日産	H18.01.16	18 年 2 ヶ月	三益消防機材
第21分団	富浜	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ	R04.03.17	2 年 0 ヶ月	総務省消防庁貸与
第22分団	香取	消防ポンプ車(CD- I 型)	日野	H22.01.28	14 年 2 ヶ月	GMいちばら
第23分団	相之川	消防ポンプ車(CD- I 型)	日野	H20.02.04	16 年 1 ヶ月	GMいちばら

婦人消防クラブ



令和5年度 総合訓練（災害図上訓練）

※「婦人消防クラブ」は令和6年4月19日「女性消防クラブ」へ名称変更しました。

1 婦人消防クラブの状況

婦人消防クラブは、一般家庭からの火災を防止するため、主婦を対象に火災予防の知識、出火時の適切な対処方法を習得し、地域における女性防災リーダーの育成を目的に平成元年2月4日に結成され、現在会員数309名で、災害のない快適で安全なまちを目指して、研修・訓練に励んでいる。

ア 支部別会員数

令和6年4月1日現在

支 部 別	市川第1	市川第2	真 間	国 府 台	八 幡	市川東部	信篤・ 二俣	菅野・ 須和田
会 員 数	2	32	6	8	7	47	7	3

支 部 別	宮久保・ 下貝塚	曾 谷	国 分	大 柏	行 徳	南 行 徳	和洋女子 大学生	合 計
会 員 数	15	17	46	9	15	45	50	309

イ 活動状況

令和5年度中

活 動 内 容	会 議	講習会等	訓練等	視察研修	防火思想 普及活動	合 計
回 数	6	6	8	3	102	125
延 べ 人 数	367	113	149	66	249	944



令和5年度 視察研修(防災科学技術研究所)